PAR Sensor

NIJAPAR BERTHAR



日本環境計測株式会社製 光量子センサー MIJ-14PAR 弐型/K2 アンプレス

解説

_____ MIJ-14PAR弐型のアンプレスバージョン、K2です。外観はアンプ搭載型の弐型と相違はなく、部品の90%以上は共用ですが、アンプを搭載していない代わりに受動型温度補償回路を搭載しています。同時に光学系の見直しで、実用域の入射角特性である80°未満の範囲において、過渡特性の向上も得ています。ハイエンドなPARセンサーという要望への回答です。

特徴

- ・新開発の受動型温度補償回路P.T.C.C.(PassiveTemperatureCompensation Circuit)を搭載。±0.01%/℃
- ・入射角特性を追求し、PTFE製R40の曲面を持つ大型拡散板により、±1.5%入射角特性エラー(0~79°)
- ・光学系はSiフォトダイオード+UVIRフィルター+HOYALB40(赤減衰)+内部乱反射阻止用φ4.0アパチャー
- ・接着剤などを使った封入組立はバルクヘッドコネクタ以外は排除。全ての部品が分解可能で部分修理が出来る設計
- ・浸水の要因であるケーブル取出部はバルクヘッド防水コネクタを採用している為、容易にケーブルを脱着可能
- ・水平基台を組込済。3つのネジで水平出し、2つのネジで固定可能
- ・水平基台内部にモレキュターシーブとシリカゲルを内蔵。交換は底面のネジ3本の脱着で可能

オプション





レベル・内部薬剤 とがり先レベル調整ネジ



防水コネクタ



水抜き穴装備



専用マウント

仕様

0~5,000µE
代表値9 mV@2300µE、校正係数を###.##µE/mVの表現でラベルに記載
±0.01%/°C以下
μΕ (μmol·S ⁻¹ ·m ⁻²)
0.2µSec
<±1.5% at 0~79°(<-50%Peak at 80~89°)
アジマスエラー: <±0.5% over 360° at 60°elevation
筐体: A5052、被覆: 黒アルマイト、拡散板: PTFE
-40∼80°C
最大外径φ54mm、高さ38.6mm
センサー部127g、ケーブル重量120g
白/出力+、黒/出力
5mケーブル、取付用ネジM4-30×2

対応ロガー



MIJ-12防水口ガー (1ch)



MIJ-01 マルチチャンネルロガー (DIFF 8ch SE 16ch)



Environmental Measurment Japan 日本環境計測株式会社

〒811-0215 福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号 TEL:092-608-6412 FAX:092-985-7844

